

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在、両ユニットの利用者の方の居室入り口戸の内側の鍵レバーが取り付けられている数は6居室あるが、それまでは他の利用者の方が戸を開けて中に入られるのが嫌がられたこなどが有り本人が、中からレバーで施錠されていたケースがあった。	ホーム内の居室入り口戸の内側の施錠レバーを全てなくしていく。	現在、施錠レバーを取り付けている利用者、また家族の方に連絡をとり、理解、承諾をとり施錠レバーを撤去する。	2ヶ月
2	11	職員の研修参加後の復命については、必ず、カンファレンス等の際報告、復命は行ってはいるが、復命書式やまとめの方法も検討し、設定まではしていない。	誰が見ても読みやすい復命書式を作成して研修成果向上につなげていく。	研修会、講習会などの復命の書式、様式について他の事業所の事例や参考文書などを含めて検討を続けながらより良い復命報告、方法などを決めていく。	3ヶ月
3	40	ホーム内での食事の際に利用者と一緒に職員も食べる体制がなかなか出来にくい為、利用者の方の食事が済んでから食べている。同じテーブルで楽しく食べる状況が出来にくい。	食事を支援の一貫として、職員も同じものを一緒に、テーブルを囲んで楽しく食べる雰囲気創っていく。	先ず、弁当と一緒に食べたり、利用者と同じ食べ物を一品だけからでも味わって食べる取り組みを試行していく。	5ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。